

NPO環境共棲住宅・地球の会の新理事長に7月下旬、安成工務店(山口県下関市)代表で同会前副理事長の安成信次氏が就任した。加盟資格に一住宅を木造軸組工法で建築し、構造材に国産材100%、造作材に同50%以上採用などを掲げる地球の会は、今期で10期目を迎える。地域の木と素材を使う地域型住宅の普及を目指す会の現状と方向性について安成氏に聞いた。



社が連携をすれば、取りの木の家づくりサミットに組み込むべき共通の課題が見えてくる。活動だ。特にベンチマーク活動は、デザイン性の高い木軸住宅を扱うことが、工務店としての差別化で、会が発足した。発足を強化すると考えている。

「日本の木の家づくり」で連携

森林見学ツアーで一般にアピール

会の現状について 建住宅の規模は、約3千坪、施工者として実際に家棟。地元で活動する工務店だけでなく、より広域で事業活動を行い、年間の供給棟数が数百棟に達している。加盟している。会発足の経緯は、いわゆる地域型住宅、日本の木の家を一生懸命作っている会社があつた。当時の住宅を巡る環境とるため力を入れている。また、会員同士の切磋琢磨が一段落し、木のいえ、琢磨のほか、一般のエン地域型住宅の扱いに戦略ドゥーザーに対するアピールで、全国一斉「森林見学・体験ツアー」を開催している。家づくりに住宅というものを、もっと使われる地域の木が、ど

ベンチマークで意匠力を上、CO2固定認証制度

と取り組みたいか。現在、安成工務店では、木や自然素材が持つ調湿・空気質などが人の健康にどのように作用するのかについて、大学と共同研究を行っている。これまでも木の家に住むことが健康に良い影響を与えることは伝えられているが、それを科学的に検証できれば、木の家の価値の再評価となり、ひいては木の家づくりを行う職人の復権にもつながるのではない。

球磨杉のJAS製材供給開始

国産材品質表示推進協議会 11月6日に記念講演会でPR

国産材品質表示推進協議会SSDプロジェクト(大阪府大阪市、中村暢秀会長)は1日、日本規格(JAS)機械等級区分製材認証制度に対応した球磨杉の製材品、

「Jポスト(柱材)」「および「Jビーム(梁桁材)」の供給を始めた。規格は共にE70以上・SD20以下で、供給エリアは近畿から九州を含む西日本。Jポストは芯持ち、Jビームは芯持ち・芯去りの双方をラインアップした。23日に「自然素材の住宅セミナー」、11月6日に「球磨杉Jポスト・Jビーム供給開始記念講演会」を行い製材を説明、構造計算が必要な躯体構築にムク材の使用を望む地域工務店にPRする。

製品の乾燥方法は、Jポストはドラインゲセツト併用の蒸気式乾燥設備を用いた中温域乾燥、Jビームは丸太状で熱処理を行い木材の内部応力を緩和したのち、製材後に仕上げ乾燥する複合乾燥法を採用している。

新築時の確認申請手数料を無料に

日本 ERI 広島土砂災害の罹災者対象

ERIHホールディングス(東京都港区、中澤芳樹社長)は1日、子会社主を対象に、建築確認申請手数料を全額免除する。被災者支援事業を始めた。実施期間は2015年9月30日までで、中間検査および完了検査手数料は対象外。同サービスを利用するには、市町村などが発行する罹災証明書または被災証明書の写しを添付し、かつ、住宅性能評価または長期優良住宅に係る技術的審査を併願申請する物件。申請に関する相談・受付は、日本ERIHの各本支店窓口に対応している。

新設住宅

木造軸組戸建て

都道府県	総戸数	利用関係別									
		シエア	持ち家	前年比	貸家	前年比	分譲	前年比			
北海道	850	△17.0	30.1	746	△14.5	10	△44.4	10	△41.2	84	△27.6
青森県	278	△27.0	60.2	249	△23.2	0	△109.0	3	50.0	26	△420.0
岩手県	350	△11.2	41.5	326	△3.7	5	△66.7	3	200.0	16	△5.9
宮城県	751	△14.5	38.9	489	△21.1	0	△91.5	0	100.0	172	△16.9
秋田県	248	△22.7	69.5	217	△12.5	5	△0.0	1	50.0	25	△4.2
山形県	225	△29.7	62.3	180	△27.5	2	△-	3	△25.0	40	△42.9
福島県	488	△17.7	44.4	416	△16.6	3	△53.3	3	-	66	△29.4
合計	104	△18.1	40.5	2,623	△11.1	115	△4.5	23	△23.3	429	△4.2